

# 桜の宮

大阪市北区天満橋  
1丁目8-75  
全国林野関連労働組合  
近畿中国地方本部  
TEL06-6881-2181  
発行責任者  
田上 富二男  
編集責任者  
山下 一郎

## 2020年人勸期の取り組み状況

### 人事院交渉・ネット署名の取り組みを実施

新型コロナウイルス感染症の影響で民間給与の実態調査が進んでおらず、人事院勧告が大幅に遅れている状況となっていますが、取り組みは着実に進められています。

8月5日、公務員連絡会が「2020年人勸期における要求書」を人事院に提出し、人勸期の取り組みがスタートしました。(中央本部も同日に要求書を提出。)

林野労組では、各地本・分会において要求書を提出するとともに、2020年人勸期署名行動「ネットシグネ」の取り組みを進めてきました。

8月31日には、林野労組近畿中国地本と、国公関連労働組合連合会近畿地区協議会(議長・大阪国税労働組合浦田晃介中央執行委員長)の連名で、大場昌弘人事院勧告に事務局長に、「2020年人事院勧告に関わる要求書」を提出し交渉を実施しました。



8月31日 人事院近畿事務局長へ要求書を提出  
(写真左・浦田議長、右・大場局長)

また、9月1日には、人事院本と、公務員連絡会幹事クラスによる2020年人勸期要求に関わる交渉が実施されました。

冒頭、2020年人勸期署名行動「ネットシグネ」の取り組みで、全国の仲間から寄せられた48万3,379筆の署名が提出され、民間給与実態調査や人事院勧告作業の状況、新型コロナウイルス感染症への対応、諸手当や再任用職員の給与など、労働諸条

件について交渉が行われました。

人事院は、「今年の民間給与実態調査は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響から、ボーナス等の調査を先行して実施し、月例給の調査については8月17日から実施している。勧告時期等については、現段階でははっきりと申し上げられないが、人事院としては、国会と内閣に必要な勧告・報告を行うべく、鋭意検討・準備を進めている。新型コロナウイルス感染症への対応については、時差出勤・出勤困難な場合の特別休暇の措置、新型コロナウイルスにさらされる業務に従事したため発症した疾病については公務上の災害となるなど、対策を講じてきた。今後も感染状況、感染症対策業務に関する状況等を踏まえつつ、必要な対応を行うてまいりたい。」と回答しました。

これに対し、「職員の給与、勤務条件を適正に確保するという人事院の役割は、これまで以上に重要になってくる。今後の人事院勧告に向けたスケジュールについても今日の段階では明らかにしていないが、引き続き、前広な情報提供を強く求める。」と要望し、交渉を終えました。



### げんぱち

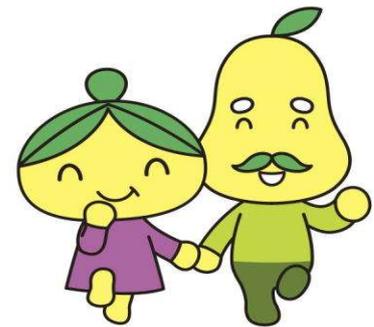
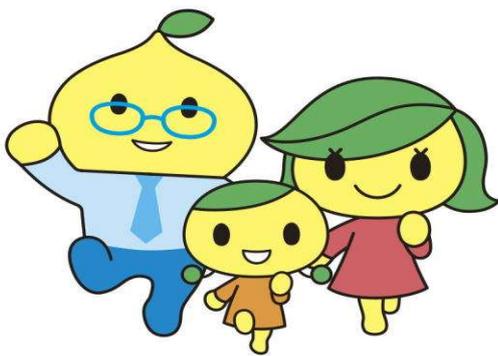
◆菅内閣の発足を受け、各マスコミが実施した世論調査では、支持率が歴代3位の高さとなった◆不支持率は14%。新型コロナウイルスの対応などで低迷していた支持率も、人が変われば変わるということだろうか◆一方の野党は、合流新党を結成した新しい立憲民主党の支持率に大きな変動はなかった。今後に期待したい◆菅首相は就任後の記者会見で、「新型コロナウイルスへの対応を最優先課題とし、経済再生との両立を目指す。また、行政の縦割り体質・前例主義を打破し、既得権益にとらわれることのないよう、規制改革に全力で取り組むため、『国民のために働く内閣』をつくる。」と表明した◆河野太郎行政改革担当大臣を中心に進めるとして、規制改革を政権のど真ん中に置き、国民の意見を聞く「縦割り11番」を設置した◆安倍政権の継承といいながら、デジタル庁の新設や地方経済の活性化などの独自色にもじませ、あたかも新しい改革が始まるとの期待感を感じさせる手法はなかなかのものである◆しかし、主要閣僚は留任させていることから、来年予定されている自民党総裁選までは、大きく体制を変える考えはないようだ◆臨時国会が10月下旬に召集される方向で調整されている。新型コロナウイルスの収束の見通しが見えない中で、菅首相就任後、初の国会となるだけに、与野党の実のある論戦を期待したい。(吉)

「2020年7月豪雨災害に対する緊急カンパ」  
カンパ総額254,000円  
組合員の皆さまの温かいご厚意に感謝申し上げます!

「2020年人勸期ネット署名」取り組み結果  
274筆の署名が集まりました。  
ご協力ありがとうございました!!

こくみん共済 NEWS  
coop

# 「たすけあいの輪をむすぶ」 こくみん共済 coop は、 次のステージへ



公式キャラクター ビットくん(中央)と  
ビットくんファミリー

2019年6月、全労済から「こくみん共済 coop」へ  
この1年間、「たすけあいの輪をむすぶ」を合言葉に、  
共済という「たすけあいの仕組み」を通じて、  
事故や病気、大きな災害など、組合員の「もしも」を支えてきました。  
そして、もっと多くの人と、「たすけあいの輪」をむすぶため、  
共済だけでなく、私たちにできることに取り組みます。  
豊かで安心できる社会にむけて。2年目の挑戦がはじまります。

こくみん共済

総合医療共済

せいめい共済

火災共済

自然災害共済

マイカー共済

自賠償共済

交通災害共済

団体生命共済

新セット移行共済



「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済 <全労済>

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop